



まずはじめに、NPO法人柔道教育ソリダリティーの皆様、私の柔道の恩師、アナトリー・ラフリン先生にこのような素晴らしい環境をいただき、柔道のコーチング方を勉強させていただいたことに、心から御礼申し上げます。もちろん、6カ月では、嘉納治五郎先生が創設した柔道やその伝統的な背景を学ぶことは不可能でしたが、おおくの事を勉強させていただきました。しかし私たちにとっては、日本のトップを誇る東海大学柔道部で柔道や日本語等を勉強できたことは大変誇りに思っています。

柔道の練習においても、柔道部の皆さんから頂いたサポートは忘れません。たとえば、柔道のトレーニングにおいても私たちにとっては全く新しい練習法も教えていただきました。又3週間の講道館での国際セミナーは私の生涯で忘れられない体験をさせていただきました。

国際セミナーでは、世界一の寝技や固め技、柔道の歴史、日本の文化伝統等、そして私たちの持っている技術向上をさせていただきました。私はそこで素晴らしい日本の文化や伝統に出会いました。京都にも行って、その歴史に触れました。

京都は素晴らしい町でした！古いお寺や街並み…。

そして5月に入って、広島、福岡、熊本へ卒業旅行に行きました。

この卒業旅行で、広島宮島の世界遺産にも触れましたし、原爆博物館では心が痛むほど平和について考えました。

ふくおかでは、ロンドン五輪の選考大会を視察し、ドキドキしながらロシアのチームと日本の選手が対戦することをかんがえていました！

この6カ月間、私の柔道を単なるスポーツとして捉えていた考え方を変えました。

柔道は人生の道であり、哲学でありそして金メダルを取るだけの柔道ではないことを！

私は柔道で学んだことを私の人生に活かして行きたいと思います。

この6カ月間日本で学んだことは私のコーチとしての人生に活かされていくことは間違いないと思います。

最後に、山下泰裕先生をはじめとするNPO法人事務局のみなさんに家族のように受け入れていただき、たくさんのお事を学ぶ機会を作っていただいたことに、心から感謝します。NPO法人の活動こそ、柔道の道が生かされている団体だと思っています。本当にありがとうございました。